

## 選定都市へのヒアリングを踏まえた委員コメント例

No.	提案者名	コメント例
1	北海道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域自治体である道として、取組を絞った提案は興味深いものであった。今後は、包括性及び新規性を持って道内の自治体との連携、組織化を進めることが重要と考える。</li> <li>・モデル事業に関しては、SDGsという大きな目標に比べるとサイクルシフトという提案は規模が小さい印象であり、SDGsの取組の全体像を示すとともに、より多様かつ規模の大きな提案となることを望む。</li> </ul>
2	北海道札幌市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌市の既存の取組である低炭素社会の実現を軸とした具体的な事業提案であり、実現性は高いと感じる。その一方で、SDGsの推進という観点からは、省エネという環境の側面のみならず、社会及び経済面の取組についても検討いただき、新規性があり、かつ、統合的な提案を期待している。</li> <li>・例えば、シュタットベルケ型の地域エネルギー主体の検討を行うなど、個別のエネルギー、まちづくり関連事業がモデル事業の採択によってどのように促進されるかも具体的に提案してほしい。</li> </ul>
3	北海道ニセコ町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が具体的であり、SDGsの本質を良く理解した、自律的好循環の達成が期待されるモデル事業の提案であった。</li> <li>・ビジョンをしっかりと持ち、より意欲的な目標を立てることが期待される。また、モデル事業と住民自治や経済活性化とのつながりが可視化されると、より良い事業となるのではないかと。</li> </ul>
4	北海道下川町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル事業の提案につき、社会・経済分野では実現性、先導性、包摂性ともに高い水準の検討であり、分野間の相乗効果もよく議論された提案であった。</li> <li>・「コンセプトアライアンス」という考え方は、まさにSDGs達成に向けた方向性と合致するものであり、今後の展開に期待したい。</li> <li>・提案の中では、経済面でのドライバーを強化し、補助金が終了した後の自立体制について、今後検討を深めてほしい。</li> </ul>
5	宮城県東松島市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東松島市は自然環境や住民組織等、これまでの取組で培った多くの資産があり、復興への尽力に敬意を表したい。HOPEを始めとしてポテンシャルの高い地域特性があると考えており、今後SDGsの概念についても、より深い理解を期待したい。</li> <li>・モデル事業については、新規性及び具体性の観点から更なる検討を期待したい。例えば、地域新電力利用の戦略的効果及び意味についても明示することが望ましい。</li> </ul>
6	秋田県仙北市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙北市の抱える人口減少や高齢化などの特徴的な課題を元に、課題解決のための独自性のある事業提案を行う可能性が見られた。今後は、仙北市の固有の状況からSDGsを活用した課題解決策の提案を期待したい。</li> <li>・水素の活用というモデル事業の提案については実証実験の実施に留まらず、国家戦略特区の試みを活かした産学クラスターの活性化や、農業と関連する6次産業化などの横断的な試みの検討が期待される。</li> </ul>
7	山形県飯豊町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農村計画研究所の再興を中心としたストーリーは魅力的であった。その一方で、再興のためには初代研究所が衰退した原因分析や「新しい価値」の具体生成が必要と考える。例えば、地域自律圏、自主活動(美しい村連合)等のコンセプトが活用できるのではないかと。</li> <li>・提案においては、バイオマス活用エネルギー、イノベーション事業の具体的な独自性、先導性を示す必要がある。</li> <li>・また、「米沢牛の生産の40%が飯豊町」といった地域特性も、地域の課題把握、解決策提案に織り込むとより良い提案となると考える。</li> </ul>
8	茨城県つくば市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学園都市であるつくば市には高いポテンシャルがあり、取組に強い期待をしている。</li> <li>・子どもの貧困問題は大変重要なテーマであり、貴重な提案であったが、食や地産地消を中心とした提案がSDGsの包括的な取組と如何につながるのかのストーリー説明が更に必要な印象であった。</li> <li>・今後は、新規性及び独自性の観点から、つくば市の特色を存分に活用する提案を期待したい。</li> </ul>

No.	提案者名	コメント例
9	神奈川県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県の提案するSIB(ソーシャルインパクトボンド)という手法は、様々なSDGsの達成に繋がる可能性のある提案であることが評価される。今後は、当該提案が如何にSDGsの達成に繋がるかの明確な説明を期待するとともに、ヘルスケア、ニューフロンティアファンド、藤沢SST、多世代連携の相互の連携についても詳しい説明が必要と考える。</li> <li>・広域自治体である県として、フィールドのある藤沢市との連携、他市町とのSSD事業と連携等を期待したい。</li> </ul>
10	神奈川県横浜市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市らしいビジネスをベースとした取組であることや、文化がテーマに含まれていることは独自性があり評価できる。SDGsデザインセンターをステークホルダー連携の中心に是非据えてほしい。</li> <li>・その一方で、デザインセンターによるファイナンスについては、実現可能な仕組みを検討してほしい。加えて、IoT、エネルギーについて技術開発だけでなく、自律的好循環の消費と近接する「横浜型」社会イノベーションモデルとして発信することを期待する。</li> <li>・KPIIについては、GHGs、観光消費などマクロ指標だけでなく、取組進捗を測る指標等も期待したい。</li> </ul>
11	神奈川県鎌倉市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌倉市の特性を活かした多様な人材の連携による取組であり、地域社会資本の形成という提案は面白い視点である。提案における個別の取組を、SDGsの統合的な理念から全体的に構造化して可視化することを期待する。</li> <li>・古民家再生、食堂、リビングラボ等の公共性、公平性、受益負担配分をどのような仕組みで担保するかの検討が必要。中長期的なSDGs価値を政策に内生化するアクションプランの検討を期待する。</li> <li>・また、県内でSDGsに取り組む自治体との連携ができると、より広い視点が持てるものと考えられる。</li> </ul>
12	富山県富山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山市の中心政策であるコンパクトシティの取組に加えて、新規性の高い中山間地でのモデルを検討していることは評価できる。SDGsの推進に向けて、SDGsを中心としたビジョンを更に明確化することが望まれる。</li> <li>・モデル事業の提案については、取組がやや分散的に提案されており、SDGsの統合的な理念を反映した地域交通、地域エネルギー、ヘルスケアを統合化して市民の暮らしやすさ、満足度を高める政策に昇華するための検討を期待する。</li> <li>・また、国際的な発信として、富山市とOECDの構築された関係も活用可能と考えられることから、活用を検討してほしい。</li> </ul>
13	石川県珠洲市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績を踏まえたSDGsラボの提案は計画の実効性が期待できるものであった。その一方で、SDGsの達成に向けて、SDGsラボの位置づけをより明確に説明していただくことが重要と考える。</li> <li>・SDGsラボにおいては、経済界との接点やビジネスの視点を更に取り込むとともに、地域循環共生圏の具体的な産業、農林業、基盤づくり、社会資本等の具体的な取組についても検討してほしい。</li> </ul>
14	石川県白山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性(ジェンダー)活躍の視点は着眼点に独自性があり、優れたものであった。少子高齢化の日本においては、女性、高齢者、障害者、介護者等、全員が活躍できる環境が必要である。</li> <li>・その一方で、女性の活躍を中心に置いているものの、具体的な制度設計が練られていない印象である。女性活躍に取り組むのであれば、家庭、子育て、地域の中で多忙を極める女性に対して、骨太の育成計画を責任を持って構築してほしい。</li> <li>・白山市の取組については、大学、企業との連携に期待が持てるが、市役所の更なる積極的な関与を期待する。</li> </ul>
15	長野県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギーを中心としたモデル事業の提案は、実効性が期待できるものであった。その一方で、SDGsの統合的な取組の象徴として、当該モデル事業を位置づけるためには、より説得力のあるストーリーによる説明を期待したい。</li> <li>・個別の地域エネルギー事業を他省庁事業で進めつつ、その総合的な調整、事業化、エネルギー展開をSDGs事業で進めることの理念はわかりやすいが、更に、イノベーションキュレーター塾や教育等、社会・経済の取組も強調するとともに、広域自治体の機能である基礎自治体との連携を示してほしい。</li> </ul>
16	静岡県静岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの考え方をよく理解した提案であり、説明内容が明快であった。</li> <li>・モデル事業に関しては、実証レベルに至るまでに時間がかかるものと予想される。また、水素というグローバルな取組については、他の関係者と連携しながら進めていくことが必要であるとともに、水素貯蔵体、水素生成リアクター等の実用化推進のプロセスを具体的に検討することを期待する。</li> </ul>

No.	提案者名	コメント例
17	静岡県浜松市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜松市の提案書は課題や目標がよく整理されたものであり、多様なゴール設定の元、複数事業の展開が記載されていること、浜松市の特色としての多文化共生が盛り込まれていることが評価される。</li> <li>・モデル事業については、産業政策の側面が強く、SDGsを活用する具体的な意義や社会面における市民の参画方法についてより明確に説明することが必要である。</li> <li>・また、他地域における先行モデルを踏まえ新規性の観点及び事業構築性についても一層明確にすることを期待したい。</li> </ul>
18	愛知県豊田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田市の製造業基盤を踏まえた「実証フィールドを提供する」という点を前面に出すことでより興味深い提案になることが期待される。</li> <li>・モデル事業については、SDGs概念の理解普及が実社会の課題解決にいかにつながるかという関連をより明示的に示すとともに、人材育成の先のプロセスについても具体化が必要と考える。普及啓発の座学に留まらず、SDGsの統合的な理念を盛り込んだ具体的な事業を行うことが先駆的なモデルの形成に繋がるものと期待している。</li> </ul>
19	三重県志摩市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食の視点は独自性があり、漁業者と観光業者の連携や高齢者の活躍促進などの着眼点は評価される。その一方で、現時点の提案においてはSDGsの達成に向けた取組との関連性を一層明確にすることが必要である。</li> <li>・伊勢エビを中心にした持続可能な漁業は既に確立されたものであり、既存プロジェクトの普及啓発単体に取り組むのではなく、食文化、藻場再生などこれまでの取組が幅広い社会、経済面へ波及する検討を期待したい。</li> <li>・志摩市が持続可能な食の認証といった制度構築の拠点となることを期待する。</li> </ul>
20	大阪府堺市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュータウン再生というテーマは、SDGsの統合的な理念を大いに活用できる分野であると考えられる。その一方で、水素及び次世代モビリティを中心とした今回の提案がニュータウンの再生という課題をいかに解決するかを明瞭にする必要がある。</li> <li>・ニュータウンの再生は堺市にとって大きな課題であり、真剣さを感じることができた。今後は、産業との連携、自立地域エネルギーを進める事業の取組の構想を具体的に展開してほしい。</li> </ul>
21	奈良県十津川村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案としてよくまとまっており、広域な森林を少人数で管理するモデルとなること、十津川HOLTZを核とする分野横断的な活動推進・検討が期待される。</li> <li>・その一方で、林業の取組が具体化しているのであれば提案に具体的に位置付けるとともに、村全体の魅力向上等をマイナス面の減少というアプローチからでなく、プラス面の創出という観点からも検討すると良いのではないかと考える。また、十津川村における提案の実行体制についても明確に説明してほしい。</li> </ul>
22	岡山県岡山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山市の提案は健康を中心としたよくまとまった提案であり、データを元にした施策立案の姿勢は評価できる。目標設定、公表、効果検証がうまく出せれば、SDGs実施へ向けたモデルとなるように考える。</li> <li>・その一方で、環境面の取組がESDIに限定することは視点が狭くなってしまふことから、より幅広い取組を盛り込んでいただくとともに、提案全体として、より具体的な事業を盛り込んだものなることを期待する。</li> </ul>
23	岡山県真庭市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオマスが経済的にまわっている点は印象的であり、その効果が社会活力につながることや、周辺自治体との連携も期待される。真庭市のモデルは、安定自律的社会モデルの観点からも普及できるのではないかと考える。</li> <li>・今後に向け、SDGsの観点から三側面の統合を踏まえた、より詳細な事業設計を検討してほしい。</li> </ul>
24	広島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和構築人材やNGO等、広島の特性を活かしたパートナーシップを基に、日本全体、グローバルにネットワークづくっていくことが期待される。</li> <li>・モデル事業の観点からは平和のプラットフォームは、高度に展開が計画されているが、SDGsビジネスモデルと平和の関連性や、その発展がいかに社会及び環境との相乗効果を生むのかについて、具体的な構想の展開を期待したい。</li> </ul>

No.	提案者名	コメント例
25	山口県宇部市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇部市の提案する人材づくりの3つの取組は意欲的な提案であった。SDGsモデル事業の提案という観点からは、SDGsの達成に向けた取組との関連性の明示や、3つの取組が貫く機能、テーマ、人材、場、知のプラットフォーム等を検討してほしい。</li> <li>・宇部方式の再生は重要な観点であり、宇部の具体的な課題解決又はビジョン構築に焦点を当てた提案とし、人材育成についても、気づき、未然防止人材に焦点を当てるなど、地域の特性を活かした提案となることを期待している。</li> </ul>
26	徳島県上勝町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上勝町のこれまでの取組は、SDGsの理念と一致するものであり、SDGsの実践として展開することができるものと考ええる。</li> <li>・その一方で、SDGsの概念に対する理解をより深め、町内の体制及び計画を整えるなど、今後の発展に期待したい。また、モデル事業をより具体的に、SDGsの達成に向けた位置づけとともに明確にすることを期待する。</li> </ul>
27	福岡県北九州市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで進めてきた環境と経済の取組は、国際的にも評価されている。それらの実績を活かし、さらに社会面などの視点も加え、包括的に、横断的に取り組むとともに、市民の取組、意識への展開を大きく期待している。</li> <li>・また、環境関係ビジネス構想について、一層の拡大を望むとともに、自治体と企業の連携のモデル構築を期待したい。</li> </ul>
28	長崎県壱岐市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長のコミットメントが強いことが印象的であり、全庁的な議論が踏まえた提案であることが覗えた。民間企業との連携の実現可能性も考慮されているが、離島という市のアドバンテージを活かす工夫があれば、より興味深い提案となると考える。</li> <li>・モデル事業に関しては、目標からのバックキャスト、連関、測定といったSDGsの基本的要素を一層意識してプロジェクトを設計することが望ましい。</li> </ul>
29	熊本県小国町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源である地熱やバイオマスを活用するとともに、拠点作りを基盤とした総合的な提案であることは評価できる。</li> <li>・地域資源を通じたSDGsの普及啓発を進めるとともに、地熱、林業を活用展開する地域コミュニティビジネスの活用を総合的に進めることを期待する。</li> </ul>

※都道府県・市区町村コード順